

科目コード	E207
授業科目名	工学倫理
授業科目名(英文)	Engineering Ethics
講義室等	6106
学科	産業衛生科学科
対象学年	2年
開講学期	後学期
必修・選択の別	選択
単位数	1
時間数	15
該当ディプロマ	◎産DP-1、産DP-3・労働衛生工学
該当コンピテンス	◎産CP-1、○産CP-5、△産CP-6
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	石田尾 徹
授業の概要	組織の社会的責任の重要性と、その基盤にある技術者としての倫理を確立し、社会的責任を明確に果たすべきことが必要であることを、事例検討を通じて学ぶ。技術者の倫理に関連した知識・情報について学ぶ。
授業の到達目標 (学修効果)	1. 技術者が社会に対して果たすべき責任について説明できる。 2. 特に、産業保健技術者が果たすべき役割と責任について具体的に説明できる。
予習復習の所要時間	講義時間16時間(2時間×1コマ×8回)+予習・復習29時間
成績評価方法	授業の取組(10%)、グループ討論・発表(10%)、筆記試験(80%)で評価する。60点以上を合格とする。
教科書	「技術者による実践的工学倫理」第4版 2020年(化学同人) ISBN978-4-7598-1977-9
参考書	特に無し
その他	

非常勤講師(学内：1 学外：2)

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R6.10.1	火	Ⅲ	工学倫理とは	講義・グループワーク・発表	石田尾 徹		
				予習 教科書1部1章・2章に目を通しておく 復習 授業のポイントをノートに整理する。				
2	R6.10.8	火	Ⅲ	専門職としての技術者の倫理	講義・グループワーク・発表	石田尾 徹		
				予習 教科書1部3章～5章に目を通しておく 復習 授業のポイントをノートに整理する。				
3	R6.10.15	火	Ⅲ	製造物責任と技術者	講義・グループワーク・発表	石田尾 徹		
				予習 教科書1部6章に目を通しておく 復習 授業のポイントをノートに整理する。				
4	R6.10.22	火	Ⅲ	安全と工学倫理	講義・グループワーク・発表	石田尾 徹		
				予習 教科書2部1章に目を通しておく 復習 授業のポイントをノートに整理する。				
5	R6.10.29	火	Ⅲ	リスクの評価と工学倫理	講義・グループワーク・発表	石田尾 徹		
				予習 教科書2部2章に目を通しておく 復習 授業のポイントをノートに整理する。				
6	R6.11.12	火	Ⅲ	環境・資源問題と工学倫理	講義・グループワーク・発表	石田尾 徹		
				予習 教科書2部3章に目を通しておく 復習 授業のポイントをノートに整理する。				
7	R6.11.26	火	Ⅲ	法規と知的財産	講義・グループワーク・発表	石田尾 徹		
				予習 教科書2部4章・5章に目を通しておく 復習 授業のポイントをノートに整理する。				
8	R6.12.10	火	Ⅲ	工学倫理総合演習	総合演習	石田尾 徹		
				予習 これまでの課題の見直し 復習 総合演習の見直し				